

来賓挨拶

酒井庸行

国土交通副大臣



に心よりお見舞いを申し上げます。

こうした我が国における頻発する災害を踏まえて、災害に

全国からお集まりの各公 屈しない強靱な国づくり、 共同体の皆様には日頃より 道路行政に對しまして、ご 6月に「第1次国土強靱化 実施中期計画」が策定をさ れたところでございます。 本計画に基づき取り組みを 着実に推進し、高規格道路 ネットワークの整備、八潮

本年も全国各地で災害が 発生しております。8月 の大雨では、熊本県、鹿児 島県を中心に甚大な被害が 生じました。これらの災害 により亡くなった方々に 謹んで哀悼の意を表します ともに、被災された皆様 してまいります。

また、ここにお集まりの 皆様方の地域の可能性を最 大限に引き出し、我が国の 経済成長や国際競争力の強 化などを図る観点からも、 生産性の向上や成長力につ ながる道路整備が不可欠で ございます。

私の地元愛知県では、 今年の3月に国道23号名豊 道路が全線開通をいたしま した。地域企業の経済活動 を支援するとともに、沿線 の製造品出荷額が向上する など、地域経済の活性化に 大きな効果をもたらしてお ります。このような皆様方 の地域の可能性を引き出す 地域から大きな声を上げて いただきたいと存じます。

国土交通省としてま は、本日ここにお集まりの 多くの皆様方の熱意を胸に 刻みながら、必要な道路整 備を着実に推進すること で日本経済の活力を取り戻 し、安全・安心な社会づく りに全力で取り組んでまい ります。

さらには日本経済を支える 物流業界を支援する観点か ら、ドライバーの確実な休 憩機会の確保、省人化ため のダブル連結トラックの利 用促進など、労働環境改善 にも取り組んでまいりま

意見発表

宮崎県知事

河野俊嗣

全国高速道路建設 協議会会長



私達が大切に思っている この道路、道。様々な比喩 の表現もあります。道を開 くと道筋をつけるなどか だとか道筋をつけるなどか 最近しみじみ思いま

たのは、岡山のご出身で す。宮崎県都城高校出身の山 本由伸投手。ドラフト4位 で入りワールドシリーズの MVPを獲得しました。世 界一の投手になられた、道 を切り開いた。素晴らしい ことだと思えますし、でも その山本投手の道も元をた だせば野茂さんが、その

メジャーの道を切り開いて いったわけですし、このス ポーツの世界でも道を切り 開いて繋いでいくこと、そ れほど大変重要なこととい うことを改めて感じました。 宮崎県では来年のWBCに 向けて侍ジャパンの合宿も 開かれます。連戦に向けた 道が開かれてほしいなど。 そして大きく飛躍する道が この宮崎から開いてほしい などという事を、道に託して 少しく宮崎のPRをしていま

した。 道が寸断されたことによ る困難さ、昨年の能登半島 地震でも身に染みて感じた ことでありますし、宮崎で は夏に、初めて南海トラフ の臨時情報が出された日向 灘での地震も発生しまし た。首都直下、豪雨災害も あります。今年、九州では

意見発表

埼玉県和光市長

柴崎光子



和光市には、鉄道が3路 線と東京外環道が通ってお り、理化学研究所などの研 究機関や司法研修所などの 国の機関が立地しておりま す。和光市は今とても発展 しておりますが、私が生ま

れた頃は駅の周辺には人参 りと自動運転に適した道路 畑が点在しているような都 市でした。平成になり東京 フラ側から支えるシステム や、自動運転の車両を安全 した。また、地下鉄が延伸 したことで街に大きな変化 をもたらしました。駅南側 の都市化が急激に進み、外 環境、区画整理の前後でま

るで別の都市のような和光 市に姿を現したところです。 道路の整備は地域の発展に 大きな影響を及ぼす大変重 要な事業です。それに合わ せての地域づくりを進める 事の大切さ、これを実感し てきたのが和光市だと思っ ております。

今、市内では国道254 号バイパスの延伸が進んで おり、市ではこれに合わせて 区画整理による沿線開 発を一気に進め賑わいあ える産業拠点を創出したいと 考えております。幹線道路 の整備は現道の混雑の緩和 に資することはもちろんで

四車線化、様々な取り組みを 進めていく、そのこともお 誓い申し上げます意見発 表とさせていただきます。

決議文朗読

広島県広島市長



松井一實

全国街路事業促進協議会 会長

決議

一、厳しい国際競争の中、我が国の経済成長と国際 競争力を一層強化するため、国内投資拡大や生 産性向上につながる高規格道路の未整備区間の 解消など、幹線道路ネットワークの機能強化を 図ること

一、国土強靱化実施中期計画を踏まえた関係予算に ついては、予算編成過程で資材価格等の高騰等 の影響を適切に反映し、頻発する災害も踏ま え、通常道路予算とは別枠で必要な予算を満額 確保すること

一、八潮市の事故を踏まえ、道路の安全・安心の確 保に向け、予算や体制面の支援を充実させ、橋 梁、トンネル、舗装などの老朽化対策等を推進 すること

一、都市や地方の魅力を高めるため、道の駅の地方 創生の拠点化の推進や無電柱化、交通安全対策 を推進すること

一、カーボンニュートラルの推進やドライバー不足 への対応等のための渋滞対策、休憩施設や交通 結節機能の強化や、観光需要の分散・平準化の ための高速道路料金割引の見直しなどを実施す ること

一、高速道路料金について、利用に応じた料金制度 としつつ、事業者向け割引を継続すること

一、有料の高速道路について、料金徴収期間の延長 による財源を活用した機能強化を着実に進める とともに、国管理の無料高速道路において、維 持管理などのため、有料制度の活用などの安定 的財源確保について、地域の意見も踏まえて検 討すること

一、防災や地方創生など、B/Cだけでは測れない 効果も踏まえ、交通量の多寡によらない多様な 観点も含めて事業の必要性を適切に評価する仕 組みを構築すること

一、大規模自然災害に即応するための地方整備局な どの体制強化や必要となる資機材の更なる確保 に取り組むこと

一、これらの項目も踏まえ、地方創生を実現し、日本 経済の活力を取り戻すため、計画的かつ長期安定 的な道路整備・管理が進められるよう、新たな財源 の創設等により、令和八年度道路関係予算は、近年の 資材価格や建設業における人件費の上昇などの影響 を踏まえ、前年度から増額を図ること

また、防災・減災、国土強靱化を一層進めること も、地域の可能性を最大限引き出し、生産性向上 や成長力の確保に資する施策をいち早く推進するた め、令和七年度補正予算を、資材価格上昇などの影 響を踏まえた十分な規模で速やかに編成すること

令和七年十一月五日 安全・安心の道づくりを求める全国大会

来賓挨拶

辻元清美

参議院国土交通 委員長



私は奈良県吉野郡大淀町 参りました。

というところで生まれまし た。奈良の南部の吉野の桜 の郷の入り口の山間の町で す。私が生まれた頃はなか なか道路がなかった地域で した。ですからこの道がづ くられ、そして当時で言え ば隧道、トンネルが出来た 時に町の人が本当にこれ

命が助かる、病院行けると ります。東日本大震災の

いう事で、本当に皆 が安心して喜んだのを 覚えております。で すから道の有難み、 命の道であるという 事を実感して育っ

参りました。 さてそんな中で、気がか りなことが二つございま す。一つは災害の激甚化で す。特にこのところ線状降 水帯をはじめ、ゲリラ豪 雨。このゲリラ豪雨など災 害の激甚化に強い道路に変 えていかないと、多くの産 業や暮らしに影響が出て参

りたと思います。 どうぞ皆様の現場にも、 委員会としてお伺いをいた したいと思っておりますの で、ぜひ参議院の国土交通 委員会にお声を届けて頂い て、日本を災害にも強い、 そして多くの人達、全ての 人達の生活や産業の基盤で ある道路をしっかり守って いく、その姿勢で進んで参